

**教** 道德教育指導論

Study of Moral Education

TANIAI Shinobu  
谷合しのぶ

科目ナンバリング：UTL-2-311-01

**■授業の目的及び到達目標**

人間としての生き方について考える道德教育活動の実践に向け、自立した人間として他者とともに、よりよく生きるための基盤となる道德性を育成する道德教育の目的や、道德科の内容及び指導計画、評価や指導案作成等について理解を深め、実践的指導力を身に付けることを目的とする。さらに、指導案作成や模擬授業等を通して、道德的価値を深めるための基本的な指導方法について理解を図ることを到達目標とする。

**■授業計画**

- 1 道德教育をどのようにとらえるのか  
道德とは何か、これまでの道德教育の歴史を振り返りながら現代社会における道德教育の意義と課題について理解を深める。
- 2 道德の目標と道德性  
学習指導要領に示された道德教育と道德科の目標理解を通して、道德教育の重要性や道德教育推進上の基本的配慮事項について理解を深める。
- 3 道德科で指導する内容（演習）  
学習指導要領に示された道德科で指導する内容項目を実際にまとめることを通して、発達段階に応じた構造やねらいとする内容、指導の方向性について理解を深める。
- 4 道德教育を支える基盤  
子供の心の成長と道德性の発達、実態把握の方法、並びに子供の心を開き、よりよい成長に向け子供の願いや思いを汲み取る学級経営の重要性について理解する。
- 5 道德の指導計画（演習）  
子供の心の成長と道德性の発達には、学習指導要領はもとより学校や地域の実態に応じた指導計画が必要であることや目標の達成には全教職員による理解と実践が重要であることを理解する。
- 6 道德の指導案の書き方と指導過程の工夫  
学習指導要領並びに、「卒業文集最後の二行」の指導案を用いて、授業のねらいや指導過程を明確にした学習指導案の作成方法について理解を深める。
- 7 道德科の評価  
学習指導要領に基づいて、道德科の特性を踏まえた評価の考え方、評価方法について理解する。
- 8 道德科の指導の実態  
中学校における道德の時間の授業の映像を通して、学校で実施されている道德の時間の授業構成についての考え方、指導のポイント、授業の進め方等について理解を深める。
- 9 道德科の指導案の作成（演習）（1）  
読み物資料「遥かなる時を超えて」を用いて指導案を作成する。資料分析、ねらい、指導過程、板書計画等を明確にした指導案作成を通して、指導案作成のポイントと方法について理解を深める。
- 10 道德科の指導案の作成（演習）（2）  
読み物資料「遥かなる時を超えて」を用いて指導案を作成する。資料分析、ねらい、指導過程、板書計画等を明確にした指導案作成を通して、指導案作成のポイントと方法について理解を深める。
- 11 道德科の指導案の作成（演習）（3）  
各自が作成した指導案をもとにグループ協議を実施する。ねらいを達成するための指導案作成についての意見交換を通して、道德的価値の深め方、ねらいを達成するための発問の設定、指導方法等について理解を深める。
- 12 模擬授業の実施  
演習で作成した指導案に基づいて、模擬授業を実施する。模擬授業を通して、道德の時間の指導方法等について理解を深める。
- 13 学期試験及び解説、講義内容のまとめ  
学期試験を実施し、実施後に解説を行う。さらに、講義内容のポイントについて確認及び、教育基本法、学校教育法に定められた教育目標、内容に即した道德教育推進の重要性等について再確認する。

**■授業の方法**

講義資料や指定された学習指導要領・参考文献等を読み進めながら実施する。さらに、指導計画の作成や実際の指導案作成、ビデオ視聴、模擬授業等を通して、道德教育、道德科の指導についての理解を深める。レポート、課題等のフィードバックは授業内で実施する。

**■予習・復習**

予習: 次回の講義に関わる内容について学習指導要領等を事前に読んでおく。  
復習: 講義資料や参考資料をもとにレポートや課題に取り組むことをもって復習とする。

**■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）**

定期試験、レポート・課題の提出状況・内容、授業参加状況（出席回数）等を総合的に判断する。定期試験60%、レポート・課題20%、授業参加状況20%として評価する。定期試験の解説は、試験終了後に実施する。

**■教科書・参考書**

教科書 文部科学省「中学校学習指導要領総則」「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道德編」  
参考書 新・教職課程シリーズ「道德教育論 改訂版」田中智志、橋本美保監修 一藝社

**■関連する科目**

倫理学A/B、教育原理、教育・発達心理学、生徒指導論、特別活動論等

**■当該科目の実務経験（該当する場合のみ記載）**

担当教員は、東京都公立中学校や教育委員会に36年間勤務し、道德教育に関する研究実績を積んできており、それを本科目の指導に活かしていく。